

開会挨拶

上田：こんにちは。これからシンポジウム「日本占領下の南洋」を始めたいと思います。今回のシンポジウムは、立教大学の招聘研究員として現在、日本に滞在しておられるシンガポール国立大学のポール＝クラトスカさんをお招きし、クラトスカさんがこれまで取り組んでこられた日本占領下というテーマを、文化・政治・社会という視点から、多面的に考えてみようという形で、シンポジウムを企画いたしました。4人の方にご登壇いただき、それぞれの研究の成果を踏まえて報告していただくということになります。

今回のこのプロジェクトですけれど、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業という資金を得まして開催しております。外邦図と呼ばれる1940年ぐらいに収集された地図に基づいて作成された地図があるのですが、さまざまな経緯がありまして、今立教大学は3000枚を超える外邦図を所蔵しています。それを整理しながら、海を考えていこうというプロジェクトを進めています。来年が最終年度となりますが、これからもプロジェクトを進めていきたいと思っておりますので是非、ご支援のほどをお願いしたいと思います。

今回、同時通訳で進めていくこととなります。また、限られた時間の中で四人の方に濃密なお話をいただくために、個々の発表の後には事実確認の質問のみを受け付けることとし、大きなテーマに関わる質問に関してはパネルディスカッションで受け付けたいと思います。

